# 平成２８年

# 第２回防府市議会定例会

# 一　般　質　問

３月４日（４人）

１ 今津　誠一・２ 安村　政治・３ 山下　和明・４ 吉村　弘之

３月７日（４人）

５ 行重　延昭・６ 三原　昭治・７ 清水　浩司・８ 山根　祐二

３月８日（４人）

９ 藤村こずえ・10 山本　久江・11 木村　一彦・12 河杉　憲二

３月９日（３人）

13 髙砂　朋子・14 和田　敏明・15 田中　健次

| No. | 1 | 今津　誠一 |
|---|---|---|

| 質　問　事　項 | 要　　旨 |
|---|---|
| 1　金融と連携した地方創生 | この度、防府市は山口銀行と地方創生に係る包括連携協定を締結した。<br>今後どの様な具体的事業を進めていくのか。 |
| 2　ふるさと納税制度 | (1)　活用に向けた取り組みの進捗状況、特に、返礼品の拡充、選定、カタログ化等について<br><br>(2)　指定寄附制度導入に向けた進捗状況について |
| 3　空き家の活用 | 現在、空き家の調査を行っているが、空き家を「準市営住宅」として活用できないか。 |

| No. | ２ | 安村　政治 |
|---|---|---|

| 質　問　事　項 | 要　　旨 |
|---|---|
| １　まちなか店舗リフォーム助成事業について | ⑴　平成２７年度の申請件数と助成総額は。<br><br>⑵　申請件数が伸び悩んだ要因をどのように分析しているか。<br><br>⑶　来年度の助成対象の範囲拡大はどこまでされる予定か。<br><br>⑷　助成対象者が増えることが予想されるので、予算総額を増やすべきではないか。 |
| ２　学校プールの改修のあり方について | ⑴　学校プール建設後の築後年数の状況は、特に築後３０年以上経過した施設は何カ所あるのか。<br><br>⑵　学校プールの災害時の利用方針は。<br><br>⑶　学校プールの点検等の維持管理の仕方や回数と修繕に要した過去５年間の施設別の実績件数と金額はどのようになっているか。<br><br>⑷　学校プールに関する予算措置については、計画的にすべきであるが、過去５年間の状況はそのようになっているか実績を教えてください。<br><br>⑸　今後の学校プールの改修・更新方針はどのように考えているか。 |

| No. | 3 | 山下　和明 |
|---|---|---|

| 質　問　事　項 | 要　　旨 |
|---|---|
| 1　子育て支援について | (1)　多子世帯やひとり親世帯の保育所や幼稚園の保育料の軽減対象が拡充されるが、負担軽減となる世帯及び人数はどうか、これらの施策にともなう市の負担額について<br><br>(2)　本市のまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定されたが、子育て支援を充実させるための具体策について<br><br>(3)　（入学祝い金）・（出産祝い金）・（本市に転入した児童への祝い金）制度の導入について<br><br>(4)　子育て世代包括支援センターの設置について<br><br>(5)　不育症治療費の助成制度の導入について |
| 2　自然災害対策について | 災害時のドローン活用について |

| No. | 4 | 吉村　弘之 |
|---|---|---|

| 質　問　事　項 | 要　　旨 |
|---|---|
| 1　今後の大規模集客施設の適正な立地と準工業地域における「特別用途地区の活用」について | (1)　延床面積１万㎡以上の集客施設が立地可能な準工業地域内における未利用地等は何箇所あるか。<br><br>(2)　準工業地域に特別用途地区を設定することのメリットとデメリットをどのように考えているか。<br><br>(3)　今後の大規模集客施設をどのように立地していく考えか。 |
| 2　防府市公会堂の耐震化計画について | (1)　耐震診断の結果と天井の落下の危険性について<br><br>(2)　過去に改修した費用と箇所、その総額について<br><br>(3)　耐震改修する場合の費用とその根拠、耐用年数、財源について |

| No. | 5 | 行重　延昭 |
|---|---|---|

| 質　問　事　項 | 要　　旨 |
|---|---|
| 1　庁舎建設について | 新庁舎の建設位置は、駅北公有地へ |
| 2　農業振興について | (1)　生産基盤整備事業への取り組みについて、積極的な支援できる体制を<br>(2)　多面的機能支払交付金事業の推進と、市の関わりについて |
| 3　防府市公設青果物地方卸売市場について | 青果市場の取引の現状と、これからについて |

| No. | 6 | 三原　昭治 |
|---|---|---|

| 質　問　事　項 | 要　　旨 |
|---|---|
| 1　消防団活動と支援策等について | 消防団は、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、生業の仕事を持つ傍ら、各種訓練を行い、活動を通し、市民の生命と財産を守るという、重要な役割を担っておられます。<br>近年は、火災のみならず、災害現場での活動。また、大地震の発生が危惧されていることなどを考えるとき、消防団組織の充実は、地域の消防防災体制の要として必要不可欠と言えます。<br>市としての消防団の活動とその役割に対する認識。また、消防団活動における課題、そして支援策について、どのように対応されているのか、取り組みについてお尋ねします。 |

| No. | 7 | 清水　浩司 |
|---|---|---|

| 質　問　事　項 | 要　　旨 |
|---|---|
| 1　中山間地振興策について | (1)　空き家対策<br>(2)　耕作放棄地対策<br>(3)　地域交通対策<br>(4)　診療所 |
| 2　防府読売マラソンの運営について | (1)　歓迎方法<br>(2)　受け付け<br>(3)　前夜祭<br>(4)　スタート場所<br>(5)　スペシャルドリンク<br>(6)　ゴール地点 |

| No. | ８ | 山根　祐二 |
|---|---|---|

| 質　問　事　項 | 要　　旨 |
|---|---|
| １　改正公職選挙法について | (1)　現在本市で１ヶ所の期日前投票所を増やすことや、期日前投票時間を拡大することについてご所見を伺う。<br>(2)　今回法整備により可能となる、投票日当日に駅や大型商業施設など、人が集まる場所に設置できる「共通投票所」を設置する考えはないか。<br>(3)　新有権者となる人への選挙制度の周知や投票率向上のためにどのように取り組んでいくのか。 |
| ２　マイナンバー制度について | (1)　２０１６年１月より社会保障や税の手続きでマイナンバーの利用開始となっているが本市でのマイナンバー利用状況はどうなっているのか。<br>(2)　現在希望者に個人番号カードの交付が開始されているが本市で個人番号カードの申請数と交付の状況はどうか。また、県内他市の状況はどうか。<br>(3)　個人番号カードの交付に伴い個人番号カードを利用して住民票の写しや印鑑証明書等をコンビニで取得するサービスを実施することが可能となる。本市の新年度予算でコンビニ交付関連予算が計上されているが具体的内容と実施時期について伺う。 |
| ３　ジェネリック医薬品の普及促進について | (1)　ジェネリック医薬品の普及促進について取り組み方はどうか。<br>(2)　政府の目標では平成３０年度から平成３２年度末までのなるべく早い時期に８０％以上とする新たな目標が定められたが、本市のジェネリック医薬品割合はどのようになっているか、また県内他市と比べどの位置にあるか。<br>(3)　ジェネリック医薬品利用差額通知書を送付しているが、送付対象者と具体的方法はどうなっているか。 |

| No. | ９ | 藤村 こずえ |
|---|---|---|

| 質　問　事　項 | 要　　旨 |
|---|---|
| １　スポーツ施設について | 市民の健康増進やコミュニティーの形成、競技力向上、スポーツを通じた内外の交流など、スポーツに対するニーズの多様化に対応したスポーツ施設の充実がスポーツ振興にとって非常に重要である。また、防府市スポーツ推進計画においても、スポーツ環境の整備を基本方針としているが、次の点について伺う。<br><br>(1)　スポーツ施設の現状と更新計画について<br><br>(2)　障害者のスポーツ施設の利用促進について<br><br>(3)　スポーツ施設の更新に伴うコスト縮減について |

| No. | １０ | 山本　久江 |
|---|---|---|

| 質　問　事　項 | 要　　旨 |
|---|---|
| １　行政経営改革について | (1)　平成２８年度から３２年度までを計画期間とする民間委託等推進計画の基本的方針について<br><br>(2)　障害者福祉施設（身体障害者福祉センター、大平園、愛光園、なかよし園、わかくさ園）と市保育所の民営化の必要性及び平成３１年度を実施目標とする窓口業務の外部委託の検討内容について |
| ２　子どもの貧困対策の推進について | (1)　義務教育段階の就学支援として必要な就学援助制度の拡充について<br><br>(2)　給付制奨学金制度の創設について<br><br>(3)　非婚ひとり親家庭の経済的支援として、保育料について寡婦（夫）控除みなし適用が実施できないか。 |

| No. | １１ | 木村　一彦 |
|---|---|---|

| 質　問　事　項 | 要　　旨 |
|---|---|
| １　職員数削減について | 市長就任以来、職員数が大幅に減らされたことによって、時間外勤務の増大、年休消化率の減少など、職員の労働環境が劣悪になっている。これは、市民サービスの向上、市経済の活性化にとってもマイナスの影響を与えていると思われるが、これについて、どう考えるか。 |
| ２　国民健康保険料について | 市の保険料は１３市のなかでは低い方だが、各家庭の負担は耐えがたいものとなっている。<br>国保会計にはかなり余裕がある筈なので、一人最低１万円の引下げをすべきではないか。 |

| No. | １２ | 河杉　憲二 |
|---|---|---|

| 質　問　事　項 | 要　　旨 |
|---|---|
| １　防災事業について | (1)　自主防災組織について<br>ア　現在の設置状況はどのようになっているのか。<br>　未設置の地域はどの程度あるのか、またその要因は何か。<br>イ　活動状況はどのように分析されているのか。<br>ウ　活性化に向けて、今後の取り組みはどうか。<br><br>(2)　防災士の養成について<br>ア　防災士の必要性をどのように考えているか。<br>イ　現在の資格取得者の状況はどのようになっているのか。<br>ウ　市の職員にも資格取得を促してはどうか。 |
| ２　学校教育について | (1)　教育政策において英語教育の必要性についてどう考えているのか。<br><br>(2)　教育日本一を目指す防府市として、英語の授業を多く取り入れた特色ある学校教育に取り組んではどうか。 |

| No. | １３ | 髙砂　朋子 |
|---|---|---|

| 質　問　事　項 | 要　　旨 |
|---|---|
| １　女性の就労支援について | (1)　結婚、出産、子育て等でブランクのある女性の再就職を支援する取り組みが必要では。<br><br>(2)　女性の創業に対しての支援体制は。課題や悩みに対して、どのように取り組んでおられるか伺う。<br><br>(3)　子育て、介護、健康等の悩みを抱えながら、就労しておられる女性をどのように支えて行くかが重要。その相談体制を伺う。 |
| ２　認知症対策について | (1)　みまもり徘徊ＳＯＳネットワーク事業が導入されて約１年。これまでの取り組み状況を伺う。<br><br>(2)　所在不明になった高齢者発見のため、一人でも多くの方に協力者になっていただくことが重要。市メールサービス登録による協力者を増やすと共に、あらゆる機関に呼びかけ、更なる周知を図るべきではないか。<br><br>(3)　認知症見守り・声かけ模擬訓練を実施しては。そのことが更なる周知へ繋がるのではないか。 |
| ３　緊急通報装置設置事業の拡充について | これまでに拡充を求めてきたが、高齢化、独居化がさらに加速する中にあって、新たな安心の見守りシステムを導入すべきではないか。 |

| No. | １４ | 和田　敏明 |
|---|---|---|

| 質　問　事　項 | 要　　旨 |
|---|---|
| １　防災について | 自主防災組織及び自主防災組織育成事業補助金について<br>ア　現在、自主防災組織を作られている自治会と作られていない自治会がどのくらいあるのか。作られていない自治会にはその理由があると思うがその理由が分かればその理由は。<br>イ　「防府市自主防災組織等支援協力員」の派遣なども行われていると思うが、まだ、自主防災組織を設置されていない自治会に対しての呼びかけや、設置されている自治会への活動の推進について特別に行われていることはあるのか。<br>ウ　「自治会などを中心に地域住民が協力して」とあるが、自治会などのなどの部分は他にどの様な組織のことを考えておられるのか。また、そのような組織があるのか。<br>エ　「自主防災組織育成事業補助金」は、市で認定された自主防災組織の活動を支援するための補助制度だと思うが、現在、全自治会に周知されているのか。<br>オ　自治会以外で認定されている組織はあるのか。 |
| ２　大平山ロープウェイ鉄塔の撤去について | ２本の鉄塔は開設されてから今日まで、実に５０数年もの間、防府市のシンボルとして現地に立ち続けており、歴史的な価値があると思われる。撤去するには、多額の工事費用が掛かるのではないか。貴重な文化遺産として後世に残して、他の用途に利用する方法を考えてみるべきではないか。 |

| No. | １５ | 田中　健次 |
|---|---|---|

| 質　問　事　項 | 要　　旨 |
|---|---|
| １　中心市街地活性化について | 旧中心市街地活性化法のもとで平成１２年に策定された「中心市街地活性化基本計画」は平成２１年度を目標年度としており、新たな計画の策定が必要である。中心市街地活性化法が改正され、防府市も新たに「中心市街地活性化基本計画」を策定すべきではないか。 |
| ２　まちづくりについて | 都市再生特別措置法が改正され、県内でも「立地適正化計画」の策定に取り組む自治体があります。市執行部として、どのような考えですか。 |
| ３　「公共施設再編計画」について | (1)　再編の具体化は、どのようにすすめるのか。<br>(2)　新たな基金の設置が必要ではないか。 |